

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成 26 年 8 月 5 日（火）13 時 30 分～14 時 45 分
2. 場 所：石川県庁議会庁舎 1 階 大会議室
3. 出席者：委員 24 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

(1) 「志賀原子力発電所敷地内破砕帯調査に関する対応状況」について、北陸電力から説明があった。

(2) 「第 2 回石川県原子力安全専門委員会」について、事務局から説明があった。

(委員) 岩盤と堆積物の境界をはっきりさせ、岩盤の上にある堆積物が 12～13 万年前の堆積物かどうかをどのように判断しているのか。

(電力) 当該のエリアが中位段丘 I 面分布域に該当することや土壌中から 9.5 万年前の火山灰が検出されていること、また、土壌の色調等から判断している。

(委員) 調査したポイントは、S-1, S-6 全体を代表しているものと考えてよいか。

(電力) S-1, S-6 とも複数のトレンチ等で確認しており、このように複数箇所を確認することが重要と考えている。

(会長) 先般の 7 月 11 日における国の評価会合で S-6 のデータ不足が指摘され、更に追加調査のボーリングを行うことを報道で聞いた。指摘があれば追加調査を繰り返していくと、最終報告や、論点整理後の追加調査は、一体何なのか疑問を持たざるを得ない。地元も心配しており、北陸電力としてしっかり調査をしたと思っているのか、見解を聞きたい。

(電力) できるだけ調査をして評価会合に臨んでいる。国の有識者の先生方は、極めて慎重であり、少しでも疑問点があれば、全て指摘事項という形で出ている。当社は、上載地層法による判定を基本とし、その他、応力解析等を上載地層法による判定を補完、補足する意味合で実施しているが、現状は、この補完、補足する部分にまでコメントをいただいている。当社は、有識者の先生方が十分納得して、疑問点がない形で判定いただきたく丁寧に対応していきたい。

(委員) これまでの対応状況について、遠田教授からコメントをいただきたい。また、どういう方向でこの問題が進んでいるのか、説明いただきたい。

(教授) 私が全体を評価することは今の段階ではできない。昨日の専門委員会で北陸電力の説明の詳細を聞き、説明不足の点、データの客観性に欠ける点や補充が必要な点をコメントした。国の評価会合でも、詳細な議論が有識者間で行われていない状況であり、その展開も見ながら我々も考えていかなければならない。

(3) 「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

(4) 「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）平成 25 年度第 4 報」及び「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）平成 25 年度第 3 報」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

(5) 「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

(6) 前回の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。